



AICHI MEDICAL
UNIVERSITY

愛知医科大学
創立50周年記念事業
寄附金趣意書



学校法人 愛知医科大学
法人本部 資金・出納室
〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
TEL 0561-63-1062 FAX 0561-62-4866
E-mail : sikin@aichi-med-u.ac.jp

創立 50 周年記念事業募金へのご協力をお願いします

愛知医科大学は、令和4年に創立50年を迎えます。昭和46年(1971年)に設置認可を受け、翌昭和47年(1972年)4月に医学部の第1回生を迎え入れました。その後大学院医学研究科、看護学部、大学院看護学研究科を開設し、現在は2学部・2大学院研究科の学園体制となっています。

愛知医科大学は建学の精神として、新時代の医学知識、技術を身につけた教養豊かな臨床医、特に時代の要請に応え、患者サイドの視点を持ち、地域社会に奉仕できる医師を養成し、あわせて医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成することを目的として、「社会から評価され、選ばれる医科大学」を基本方針として定め、学是「具眼考究」の理念の下、教育・研究・診療の各分野に互り勇往邁進に取り組んで参りました。

愛知医科大学は創立50周年を機に一段と建学の精神の具体化を推進することとし、まずは念願の分院、270床を擁する「愛知医科大学メディカルセンター」を令和3年4月に開院致しました。「Family Medicine(地域医療サポート)」をメインコンセプトとして、地域の拠点さらには西三河地域全体の医療を支える医療機関を目指します。また、事業再編としてメディカルクリニックを株式会社メニコンと連携する「愛知医科大学 眼科クリニックMiRAI」として再編し、新たな眼科医療を目指します。

研究施設の充実も進めており、我国全体の造血細胞治療を総括する日本造血細胞移植データセンターは令和4年1月に本学へ移転を終え、連携大学院も4月に開講する運びです。

また、学生の学修環境および福利厚生の実(「医心館」セミナー室の拡充、レストラン「オレンジ」の改修)、地域との交流の場となるスターボックスの誘致などキャンパスの整備を行っていきます。さらには、急性期を中心とするリハビリテーション医療やがん医療の推進、看護学については博士課程設置構想を進めていきます。その先に新時代の医療と研究を牽引する先進医療研究棟構想が浮かび上がって参ります。

愛知医科大学は、こうして時代の一步先を見据えた取り組みを積極的に展開して参ります。

こうした事業を実現させ次なる50年へ、さらなる飛躍を目指し発展し続けるためには、財政面での一層の強化・安定を図る必要があります。この機に「創立50周年記念事業(教育・研究・診療の基盤整備事業)募金」を設けることといたしました。本趣旨をご理解いただき、募金に対しまして格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



学校法人愛知医科大学
理事長・学長

祖父江 元

先進の医療を 人と社会と未来へつなぐ



50th Anniversary
Commemorative project

創立50周年に向け更なる発展を目指して

教育・研究・診療の 基盤整備事業

1

医療・研究
施設の整備

メディカルセンター開設〈2021年4月〉

令和3年4月に(旧)北斗病院より事業継承し、「愛知医科大学メディカルセンター」を開院しました。2次救急患者さんから慢性期に至るまでの幅広い患者さんを対象に、大学分院ならではの質の高い医療の提供を通して地域を守り共に生きる中核病院として、患者本位の医療を行います。今後は、若い医師らを育てる「教育病院」の機能も充実させていく予定です。



連携大学院方式の導入〈2021年4月〉

(一社)日本造血細胞移植データセンター移転・開設〈2022年1月〉

この度、連携大学院方式を導入し、本学初の試みとして愛知医科大学と一般社団法人日本造血細胞移植データセンター(JDCHCT)の間における連携・協力に関する協定書を締結し、本学の教育・研究の進展及び充実を図ることを目的として、2021年4月より「造血細胞移植・細胞治療情報管理学連携講座」を設置しました。そして、(一社)日本造血細胞移植データセンターを本学(2号館(研究棟))に2022年1月、移設・開設いたしました。



眼科クリニックMiRAI開設〈2022年7月〉

開設から38年を迎えたメディカルクリニックは、総合的な診療体制等を抜本的に見直し、株式会社メニコンとの産学連携寄附講座(近視進行抑制)と眼科日帰り手術ラボを中心とした時代が求める治療・開発・臨床研究の拠点として生まれ変わります。



医心館セミナー室拡充

医心館は、学修用施設として利用されており、特に国家試験を控えた学生のグループ学習に必要なセミナー室が設置されています。今後さらなる学修環境の向上を目的にセミナー室の拡充を行います。



2

学生の学修環境
および
福利厚生の実

3

これからの
医療ニーズに対応

スターバックスの誘致

人気の高いスターバックスが本学にオープンします。コンセプトは人と人、人と病院、人と自然をつなぐ。立石池やその周辺に広がる四季折々の風景を眺めながら、学生や教職員はもちろんのこと地域住民の方々の交流や憩いの場として幅広く利用いただくことを目指しています。



完成イメージ

レストラン「オレンジ」の改修

ガラス張りの明るく開放的な雰囲気のレストラン「オレンジ」。これまでは、学生の食事会場として、また学生同士の憩いの場として利用されてきましたが、食事以外の時間は自習の場として利用できるよう大規模な改修工事を進めます。



リハビリテーション医療の充実

超高齢社会におけるリハビリテーション医療の社会的ニーズにお応えするため、2021年7月にリハビリテーション医学講座を開設し、生活機能と障害の診断、治療技術を基礎から最新技術に至るまで経験・習得するための教育に取り組んでいます。



がん医療の推進

2019年10月に「がんセンター」を設置。院内の多数のがん診療部門を統括する横断的な組織として、診療科の枠を超えた多職種での連携業務をサポートするなど、がん患者受入倍増計画を推進していきます。



看護学研究科 博士課程設置構想

博士課程(PhDコース及びDNPコース: Doctor of Nursing Practice)を設置し、看護学分野の研究者や高度な看護実践を行う診療看護師や専門看護師の指導者を養成します。日本でも数少ないDNPの養成に挑むことで、我が国における高度看護実践のトップランナーを目指します。



4

50周年を契機に
検討をスタート

先進医療研究棟構想

「世界を見据えた教育・研究活動の充実と発展」「診療・研究・教育を担う卓越した人材の育成」「地域医療・地域貢献の促進」などの5つの目標を掲げ、その実現に向けたプロジェクトを順次発足させていきます。



イメージ

募集要項

- 名称 創立50周年記念事業募金
- 募金目的 創立50周年を記念して行う本学の発展に向けた教育・研究・診療の基盤整備(施設・設備)事業資金
- 目標金額 10億円
- 募金1口の金額 個人 1口 1万円
法人 1口 5万円
※できましたら、多数口のご協力をお願いいたします。※多数口の場合は、分割による払込も可能です。

税制上の優遇措置

- 個人の場合
1. 所得税の寄附金控除
確定申告をすると寄附額の約4割が還付されます。(税額控除の場合)

税額控除	所得税額から(寄附金額 ^{※1} - 2,000円) × 40%を控除 ただし、所得税額の25%が限度額 ※1 寄附金額は所得金額の40%相当額が限度額
所得控除	所得税額の計算において所得金額から(寄附金額 ^{※1} - 2,000円)を控除 ※1 寄附金額は所得金額の40%相当額が限度額

寄附金額収証、証明書(写)を本学より送付いたします。
確定申告時、どちらかを選択していただけます。
(多くの方において、「税額控除」の方が控除額が大きいです。所得金額に対して寄附額が大きい場合には、「所得控除」の方が減税効果が大きくなります。)

2. 個人住民税の寄附金控除
寄附額の約1割が還付されます。上記と合わせて約5割。(愛知県内の特定市町村の場合)
都道府県・市町村の条例によって指定された寄附金については、個人住民税の寄附金控除(税額控除)を受けることが出来ます。控除の内容は、市町村ごとに異なりますので、詳細については各市町村へお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

- 法人の場合
- 日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄附者(法人)が指定した学校法人に寄附していただく「受配者指定寄附金」(寄附金全額が当該事業年度の損金に算入^{*})及び「特定公益増進法人に対する寄附金」(寄附金の一定の限度額まで当該事業年度の損金に算入)の制度があります。本学では通常、前者は様々な募金で、後者は奨学寄附金などで利用されています。

^{*}日本私立学校振興・共済事業団が寄附金を受理した日が損金算入日となります。損金算入手続きには日本私立学校振興・共済事業団の「寄附金受領書」が必要となりますが、これに関する諸手続きは、本学が行います。ご寄附をいただき、本学から日本私立学校振興・共済事業団に寄附金を送金した日が「寄附金受領書」の日付(損金算入日)となりますので、決算月のご寄附につきましては、手続きの関係上、少なくとも決算日の1ヶ月前にはお振り込みくださいますようお願いいたします。

ご寄附に対する顕彰

寄附を賜りました皆様に対し、次のような顕彰をさせていただきます。

- 感謝状の贈呈
- 寄附者の公表
- 銘板掲載など

寄附者のご芳名(個人名、法人・団体名)は、広報誌・ホームページ等で広く紹介させていただきます。なお、広報誌・ホームページ等の掲載の可否につきましては、事前に確認させていただきます。個人10万円以上、法人・団体50万円以上の寄附者は、銘板にご芳名を刻み、永く顕彰させていただきます。また、特に顕著な寄附者(寄附金額の累計が個人100万円以上)は、病院(中央棟)エントランスウェイ西側の陶板にご芳名を顕させていただきます。なお、顕彰を希望されないなど、顕彰の可否につきましては、事前に確認させていただきます。



銘板掲示場所

寄附の方法

- 書面による方法
- 本学ホームページから必要な文書をダウンロードしていただくか、又は「愛知医科大学 法人本部 資金・出納室」から文書等を送付させていただきますので、それらによりお申し込みいただき、別途お振り込みなどをお願いいたします。

- インターネットによる方法
- 本学ホームページから直接お申し込みいただき、次のようなお支払いができます。

- クレジットカード
 
- コンビニエンスストア
 
- インターネットバンキング(ペイジー)
 

お問い合わせ

学校法人 愛知医科大学 法人本部 資金・出納室
TEL 0561-63-1062 E-mail: sikin@aichi-med-u.ac.jp

愛知医大募金

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0109/>

